

タウンミーティング 議事要約

テーマ：市川市の子育て支援について

日時：平成 30 年 6 月 24 日（日）午前 10 時～午前 11 時 30 分

場所：全日警ホール

参加者：約 80 人

<1>小学校特別支援学級について

参加者：特別支援学級について、教員の増員・全学校にさまざまな支援級の設置を要望する。また、このような施策は 18 歳までしかないので、学校卒業後も支援を継続する仕組みづくりをしてほしい。

市長：特別支援級の充実については、保護者が不安を抱えながら通わせることのないよう体制を整えたい。保護者が子どもを理解し、適切な知識のある先生が適切な指導を行うと、子どもは見違えるように成長することができる。いい環境で障がいのある子もない子も分け隔てなく学校に通い成長できるよう整えていきたい。今後、市内の特別支援学校や特別支援学級の視察を検討している。また、学校を出た後の仕組みについては、学校を卒業後、子どもが自立して幸せに暮らしていける環境を整えていきたい。

<2>待機児童解消について

参加者：待機児童を解消するための財源確保や用地確保に対する市の課題について、特に問題視している点を教えていただきたい。

市長：財源確保については、現在一生懸命取り組んでいる。現在組まれている市の予算について必要のない所から必要なところへスクラップアンドビルドを行っていく。用地確保については、駅前には公共施設として使えそうな物件が出たら可能な限り取得していきたいと考えている。

<3>民間保育園の保育士確保・子育て支援施設の周知について

参加者：民間保育園では定員より多くの児童を受け入れている園もあるが、保育士を確保できないのが現状であるため、他市よりも魅力的な保育士確保の施策を要望する。また、地域子育て支援センター等のプログラムについて、妊娠中から知りたかったという声を聞くため、周知について見直してほしい。

市長：保育士が確保できないために、便利な場所であるのに空きがある園もあり、大変残念だと思っている。十分な条件のもとプライドを持って保育士を続けられるような環境づくりをしていきたい。

<4>子ども医療費助成制度について

参加者：現在 0 歳児～中学校修了までの子どもについて医療費助成制度があるが、市川市では所得制限がある。他の市町村と同様、所得制限の撤廃を希望する。

市長：他市では所得制限なしで子ども医療費助成を行っているのに市川市ではやっていないという点については、同様の指摘を多数いただいている。子育て世帯が転居してくる街となるよう、検討していきたい。

<5>地域の安全確保について

参加者：

①地域で小学生を狙った不審者が出没している。地域で見守りやパトロールをする等、安全確保のために何か行いたい。自治会へ支援を行う等、市でも何か行ってほしい。

②外環道路が開通し、外環道路から出て抜け道として利用される公園脇の狭い道路をスピードを出して通る車が相次いでいる。ガードレールの設置やスピードを抑制する仕組みを早急に設置してほしい。

③小学校の集団登校の導入を検討してほしい。

市長：

①不審者情報については、今後 SNS を活用して情報共有を行い、パトロールを強化していきたい。また、警察とも連携をとりながら、子供たちが安全に外で遊べる環境を作っていきたい。

②外環道路周辺の交通事情については、危険な場所があれば後で教えていただきたい。事故が起こる前に段差や速度制限を設けるなど、対応できると思う。事故のない道にしたい。

③集団登校については、今後、議論したいと考えている。また、現在 IC チップをランドセルへつけ、学校の門をくぐると保護者へ知らせる仕組みの導入を検討している。但し、保護者負担が必要になることも想定されるため、負担限度額等を含めて検討していく。

<6>幼児教育の無償化・幼稚園の預かり保育について

参加者：来年度より幼児教育無償化が実施されるが、私立幼稚園の預かり保育について、近隣市では保育料の補助を行っている所もあるが、市長の考えをお伺いしたい。

市長：預かり保育について、幼児教育無償化制度を踏まえ、どういったことができるか考えていきたい。

<7>駅周辺の待機児童数について

参加者：駅周辺の待機児童については再開発の要因もあると考える。どのようにバランスをとっていくのかお伺いしたい。

市長：大規模なマンション建設の計画の際には、行政としてマンション内に保育園の開設依頼を必ず行っている。マンションを建設する際はお子さんを受け入れられる施設を作っ

てもらおうという条件で開発を許可するというルールにしている。

<8>父親の居場所づくり、子育て支援について

参加者：父親の居場所づくりについて、またDV担当の男女共同参画課と子育て支援担当の子育て支援課の連携した仕組みづくりを要望する。

市長：父親の育児参加は当たり前だと考えており、父親が子どもを連れ出し母親の自由な時間をとってあげることが必要だと考えている。休日に父親が子連れで集まって遊べるイベントを打ち出す等、今後市の庁舎を活用し行っていきたい。

<9>教育費の負担について

参加者：義務教育期間中の教育費の負担を軽減してほしい。

市長：なるべく保護者負担がないよう、検討していきたい。

<10>障がいがある子どもについて

参加者：障がいがある子ども自身が生きやすいような、希望を持てるような市のまちづくりをしてほしい。

市長：社会全体で障がいがあろうとなかろうと、自分らしく生きられる仕組みを作ることが行政の使命であると考えている。どんな個性がある人もバリアを感じることなく生きられるまちが理想である。皆様が安心して自分らしく暮らせるようなまちを作るべく使命感を持って仕事をしていく。